

# 新任自治会長研修会を終えて ～再開した情報交換会～

野田市自治会連合会 副会長 渡邊 建樹  
〔3ヶ町地区自治会連合会：仲町第3自治会会長〕

令和5年7月17日（月）野田市役所8階大会議室に於いて、令和5年度野田市自治会連合会新任自治会長研修会が開催されました。

茹だるような猛暑の中でしたが、66名の方にご出席いただき、事業担当リーダー市原常任理事のもと、第1部の全体説明会ではパワーポイントを活用し、新任自治会長研修の目的、自治会組織の役割と関連などについて、わかりやすい説明がありました。

第2部では、会場を3カ所に分け、4ブロックごとに情報交換会を実施しました。私は各ブロックの情報交換会を順次見学させていただきました。そこでどのブロックでも問題になっていたことは、



情報交換会の様子 Aブロック

- ①住民の高齢化が進み、役員のなり手がなく苦勞している。若い世代が引っ越してきても自治会に加入せず、加入率の低下が懸念される。
- ②ごみ問題では、当番のこと（仕事や高齢のため順番が来てもできない）や不法投棄問題 などでした。

また、ブロックによってかなり違う傾向の問題として、

- ③若い世代の流出や少子化のため、生徒数減少が著しく学校自体の存続も危うくなっている。
- ④外国人居住者が増え、言葉が通じにくく意志の疎通を図るのが大変。
- ⑤鉄道高架事業に関連して、駅周辺の開発は工期が延長されているが、進捗状況や今後の展望について市から何の情報もない。高架下の利用についても、東武鉄道から情報がない などがありました。

もう少し時間があれば、今回は話す機会を持てなかった方のご意見や、さらに踏み込んだ意見も聞くことができたのではないかと思います。



情報交換会の様子 Cブロック

自治会によっては、こうした問題に対して様々な方法を実践して、解決に向けた足掛かりとしている団体もありましたので、今日の情報交換会での話し合いが皆様の今後の指標となれば幸いです。

事後のアンケート結果では、全体会については、大変わかりやすかったが7%、概ねわかりやすかったが63%、情報交

換会については、気軽に参加できたが68%、もっと少人数の方が話しやすい気がしたが26%という結果でした。来年度へ活かしていきたいと思ひます。



## 「尾崎子どもを守る会」の活動について

「尾崎子どもを守る会」代表 長田 宣義  
〔川間地区自治会連合会・尾崎六区自治会〕

「尾崎子どもを守る会」は平成23年11月に結成され今年で12年目を迎える。児童の健全育成に寄与するために、尾崎小、川間小、尾崎保育所の諸活動支援などを行っていたが、会員の高齢化やコロナ禍のため、近年は尾崎小児童の登下校時の見守りが主となっている。

朝の登校時は、月・水・金2名、下校時は4カ所です。毎日7～8名、主に低学年を見守っているが、1～6年生を見守る日もある。交通事故のないよう、また犯罪被害に遭わないよう気を遣っている。1・2年生は左右を見ずに横断歩道を走って渡ったりするし、車は止まってくれるものと思っている子もいる。大事なことは、“挨拶をすること”である。これは大人へと向かう第一歩であり、社会的な成長に欠かせないものだと思う。



私たち会員は毎日30分から1時間子どもを見守り、時には車を止めることもあるが、運転する人も意外と協力していただき感謝している。朝は交通安全協会の人も立ってくださり安心できるが、下校時は私たちの会だけの活動であるため

身が引き締まる思いである。年々守る会の会員が高齢化し減少していく。足腰が弱くなり、立ってられない人や病院通いの人もいる。炎天下や強い雨のときなど、各自の判断で見守り活動を休むこともやむを得ないことだと思っている。そうかと思うと、グラウンドゴルフをした後に見守りをするつわものもいる。

自治会の会員が年々減るような時代、この活動に携わる人の確保が課題であり、いろいろと悩みは尽きないが毎年、尾崎小の児童一同から守る会の全員に感謝状をいただき、心を温めている。

## 特集 私たち こんな活動をしています！

街角で見かけたことはありませんか？



### チョコボラから広がった花壇整備

中央東地区自治会連合会 会長 清水 拓司  
〔常任理事：中根第9自治会会長〕

当自治会は、野田市駅の東側に位置する四角形の地域です。会員世帯数224世帯、役員47名、24班編成です。平成16年に役員のみで人手不足で自治会活動が行き詰まり、市民生活課のアドバイスを受けて環境美化活動への取り組みを始めました。最初は、数名の役員でごみ拾いをしました。平成18年、回覧のキャッチコピーを“ちょこっとボランティアしませんか”として、ごみ拾いですが『チョコボラ開催のご案内』で参加者を募集、50名超えのイベントとなりました。以来、ごみ拾いのお誘いは『チョコボラ開催のご案内』となりました。平成20年8月5日には野田市環境美化条例指定区域を取得しました。“顔見知りになろうよ！”“赤ちゃんも幼児も参加可能、連れてきてね”と呼びかけて、参加者全員にお茶とお弁当を用意します。こうして地域のミニイベントは、人と人のつながりを作り、日常生活でも欠かせない絆となりました。今では参加者100名を超える大イベントです。

こうした流れの中で、自治会内の市所有の空き地を借用し花壇として活用しています。現在花壇は2箇所、自治会役員の外にこの活動に賛同された方合計13名で、季節ごとの花苗の植え替え、草取りなどの活動をしています。最初は、家にある草花を持ち寄りましたが、今では、市のふるさと花づくり運動という制度を利用し、市から花苗の無償提供を受けています。また、自治会から2万円の活動費を出し、責任者が中心となって、記録などの担当を持ち回り制で受け持ち運営しています。

